

小倉ロータリークラブ 週報

RIテーマ：“奉仕しよう

みんなの人生を豊かにするために”

RI会 長：シェカール・メータ 氏

(所属：インド、カルカッタ・マハナガルRC)

地区テーマ：“取り組もう 基盤強化と超我的奉仕”

地区ガバナー：貫 正義 氏(所属：福岡南RC)

クラブテーマ：“原点回帰！ 魅力ある楽しいクラブへ”
～会員増強とインパクトのある奉仕～

会長 杣 巖 / 幹事 佐竹 信也



表紙写真(テーマ/皿倉山)

標高622メートルの皿倉山山頂から望む北九州です。大パノラマで市内を一望できます。「新日本三大夜景」のひとつに認定されているようですので、次回は夜に行ってみたいと思います。山頂にはNHKの建物がありましたが、西東会員にはお会いできませんでした(笑)。

【写真撮影：藤澤 修司 会員/令和3年11月/八幡にて】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093(531)1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL : kokura@2700rid.com

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F

TEL(531)1727 FAX(522)4333

クラブ会報委員会 委員長：城 健一郎

副委員長：竹中 休義

委員：久保田 彰、平野由太郎、藤澤 修司、安田堅太郎、伊藤 泰

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会 第3491回

・ロータリーソング “それでこそロータリー”

・卓話

藤田哲也博士記念会 会長

金氏 顯 氏

第3490回 例会 記録

11月12日(金) 普通例会

・ロータリーソング “奉仕の理想”

・卓話

K.I デンタルクリニック CEO

小崎 学 氏

会長の時間

杣 巖 会長

緊急事態宣言が解除となってからコロナの感染者が徐々に減り続けていますので、このまま行って欲しいものです。お陰で他の会合も復活して、年末にかけて慌ただしくなって来そうです。お酒の方も増えつつありますが、皆様は如何でしょうか？

今まさに実りの秋です。数日前から気温が急に下がりはじめて、阿蘇山では山頂にうっすら雪を被っていました。阿蘇の方では、すでに薪ストーブ等の暖房を入れています。秋が短くて急に冬が来た様な有り様です。春と秋、一番景色も良くて過ごし易い季節が短くなり、夏

と冬の厳しい季節が長くなって来た様子ですが此れも温暖化に左右されているのでしょうか？ 自然はすぐには元には戻りませんが、人類が如何に真剣に取り組むかに掛かっています。SDG's イコール ロータリー活動です。精を出してしっかり取り組んで下さい。

この様な中、14日は久々の親睦活動委員会による「平尾台トレッキング」です。お天気の方は大丈夫でしょうか？ コロナで外に出られず少し太り気味の身体をトレッキングでもして少しでも元に戻す努力をしましょう。私は、明日の土曜日にはゴルフが入っており、続いでトレッキングですが、挑戦して体力を整えようと思っています。みなさん頑張りましょう！

そしてスポーツの季節でもあります。プロ野球では、昨年最下位だった両チームが頑張っていて面白くなっています。しかし、「我がガラヴァンツ」の方はやばい位置にいますね！ 何とかJ2に残って欲しいものです。皆さん、大いに応援して下さいネ！ 又、九州場所も始まります。目が離せず話題に事欠かない季節でもありますね。コロナもこのままで終わって頂き、明るく楽しみたいものです。

幹事報告

佐竹 幹事

①先日メールでお知らせしましたが、12月8日(水)の午後3時から、ロータリー研究会の第50回記念講演会がオンライン(YouTubeによる配信)で開催されます。これは、

第2700地区の貫ガバナーから案内があったものです。講演者は青山学院大学の福岡伸一教授、演題は「ポストコロナの生命哲学 ～自分の免疫こそが最高のワクチン！ 私たちは人類とコロナの動的平衡の世界を迎える～」です。ロータリー研究会は、過去・現在・将来の地区ガバナーやRI会長・理事等が年に一度集まって、RIとロータリー財団について意見交換を行う場です。今回は第50回ということで、記念講演会が開催されます。なお、メイクアップの対象となりますので、視聴された方は事務局へお知らせください。

出席報告

柚須 委員長

2021年7月1日：65名でスタート

	会員数	出席者数	メイクアップ	出席率
当日の出席	68名	49名	—	85.96%
先週の出席	68名	47名	17名	93.22% 修正後

- ◆ゲスト 1名 (卓話者)
- ◆ビジター 1名
- ・大木 潤 氏
(日本放送協会/元小倉 RC 会員)



委員会報告

親睦活動委員会

松本 副委員長

①秋の日帰り旅行「平尾台トレッキング」につきまして、念のために再度ご案内いたします。集合は、現地とホテルの2班に分けています。マイクロバス組は、7時50分にリーガロイヤルホテル小倉2階に集合させていただきます。現地集合の方は、8時50分に平尾台自然観察センターに集合させていただきます。

②年忘れ家族夜間例会のご案内です。昨年は中止になりましたが、本年は2年ぶりに開催いたします。12月16日(木)18時30分から、リーガトップで開催します。節度を守って、楽しい夜間例会になるよう企画しています。お子様へはサンタさんのプレゼントもありますので、ご家族をお誘いのうえ、ご検討をよろしくお願いいたします。

ニコニコ献金

宮島 副SAA

10,000円 : 累計金額 138,000円

小崎 学 様

卓話の謝礼をニコニコします。

卓話

K.I デンタルクリニック CEO

小崎 学 氏

『ダイヤモンドプリンセス(クルーズ船) 乗船客』

- 1, 2020年1月20日横浜大黒ふ頭乗船
- 2, 22日 鹿児島上陸観光後、客船に戻ると中国人発熱体調不良との噂が…。
- 3, 22日夜、香港に向けて出港23日 乗船客にマスクをしている人がちらほらおり、高齢者は自分自身でマスクなどを用意している人もいた。24日には、船内放送で先に体調不良の中国人を優先下船させる。香港市内は、ロックダウンしているが、下船はできる。OP ツワー決行(ロックダウンが予定が変更あり)。シャトルバスは、香港ショッピングモールまで運行(ロックダウンの為に閉店)。



- 4, 25日 香港着岸後優先下船体調不良の方と中国人300人程度下船 香港観光に出かける方も下船した。港には、数台救急車が待機していた。香港市内はロックダウンで春節のイベントも中止。香港から新たに600人ほどが乗船。船内では春節を祝うイベントをプールデッキで行う予定だったが、大雨のため屋内で開かれた。午前0時頃香港を出港。26日終日クルーズ・ベトナムへ。体調を崩す人がちらほらでていた。
- 5, 27日ベトナム(チャンメイ、ダナン、フエ)、28日(カイルン、ハロン湾)OP ツワー観光も出来た。29日・30日 通常通り船内イベントは行っていた。雑談などで、コロナウイルスの話をする人が増えてきた。30日 中国人のコロナ感染がネットニュースになっていた。空気の入替え、換気が重要。31日は、台湾の入国管理局から通常通り入国審査が行われ、出国手続きが問題なく行われた。乗船すると、香港で下船客からコロナウイルスに感染確認など噂話が飛び交う様に、コロナウイルスの話が増えて同時に、クルーズ経験者は、沖縄に寄らず、そのまま横浜港に直行など噂話が飛び交うようになっていた。しかしながら、政府からの要請で習近平国家主席の国賓来日予定があり、速やかに検疫入国審査を行うようにとのこと(沖縄県入国 検疫を速やかに支持)。

- 6, 2月1日 沖縄で着岸してもなかなか下船できず、OP ツワーも中止 乗船客全員問診票(中国湖北省)行ったか?など記入して再度確認の為口頭で、中国湖北省に行ったか、体調その他質問があった。午後11時頃沖縄を、出港し、今までに感じたことのない猛烈なスピードで横浜に向かった。
- 7, 2日 船内放送、香港で下船した80歳中国人男性のコロナ感染アナウンスがあり(この乗客は、のちに死亡)乗船客は、動揺もなく聞いていた。そうこうする間に横浜沖に停泊する為にダイヤモンドプリンセス号アンカーをおろした。制服組のクルースタッフが、忙しく準備をした後、神奈川県健康医療局健康危機管理課職員10人程度が普通の服装で乗船してきた。
- 8, 3日 船内はいつもと変わらない様子でプログラムをこなす。乗船していた横浜保健局の職員と制服組のクルースタッフは、普通とは違う違和感を醸し出していた。厚生労働省は、そのまま下船して帰宅してもらい、発熱があれば連絡をしてもらい検査を改めて行う。政府は、速やかに検疫を済ませて、乗船客を下船させればいいとの見解(発熱のある人数をPCR検査した結果感染者が確認)。船内放送では、下船は5日変更。妻から電話で連絡があった。妻が4日から乗船する予定は中止となり、5日になるとのこと。妻は、大変なことが起きていると心配していた。
- 9, 4日 下船は延期。横浜沖係留ダイヤモンドプリンセス号は動く気配なし。妻が乗船する予定で、準備をしていたが、国土交通省、厚生労働省、ダイヤモンドプリンセス号運航会社に電話しても情報は無いとのこと。6日に横浜大黒ふ頭に着岸して検疫に出す問診票に記入提出するよう船内放送。体調不良の乗船客から下船。3日の案内では、4日から乗船する予定が、延期ダイヤモンドプリンセス号に新たなる乗船客は5日に乗船すると案内。下船の準備をしてください。妻から電話で、今回の船旅は中止になったと連絡があった。マスメディア、ワイドショー、自称専門家はお祭り騒ぎで、ヘリコプターや船がダイヤモンドプリンセス号のまわりに集まっていた。
- 10, 5日早朝 神奈川県横浜市厚労省方々が多数乗船、その後ダイヤモンドプリンセス号アルマ船長から船内放送があり、「乗船客の皆様は、直ちに船室に戻ってほしい。日本国政府と常時相談している。」この日から事実上の隔離が始まった。乗船客は、動揺もなく従って客室に戻った。体温計、N95マスク、アルコール消毒液などがキャビンに届けられる。「体温37.5度4日間続けて熱がある方は、連絡ください。」WHOは12.5日隔離、日本国政府は10日間隔離?感染者は倍になっていた。
- 11, 6日 自衛隊派遣。海上自衛隊、航空自衛隊のみ(衛生隊はいない為)、練習用のタイベック(防護服)脱着の訓練をして横浜港着岸後乗船してきた。アメリカからプリンセスクルーズ社ジャン社長ドクタ

ー3名感染症の専門家が乗船してきた。アメリカCDCによると、14日の隔離が必要とのこと。船外では、マスメディアがお祭り騒ぎ! 乗船客はほとんど高齢者だったので、薬の問題が浮上。皆は、毎日見ていたワイドショーで船室ベランダから薬がない旗をよく見ていたと思う。ダイヤモンドプリンセス号アルマ船長から船内放送にて、「かかりつけ医、薬剤師に電話をするように。」住所は、横浜港大黒ふ頭ダイヤモンドプリンセス号キャビン番号を書く事で、宅配便が届くように日本国政府に依頼し、許可された。

- 12, 7日 乗船客は、N95マスクを着用してキャビンから出る事が許可された。人数を制限して7階デッキと14階デッキに順番に60分程度…。乗船客から提案があり、「内側キャビン、ベランダがないキャビンを優先しませんか?」船内放送で船長アルマから「感謝申し上げます。直ぐに対応します。」船内では新たなる問題が発生! 体温38度、39度の人が多くPCR検査も出来ない状態になっていた。コロナウイルス感染者が毎日倍になって船内ではトリアージが始まる。1 緊急医療を要する人 1-2 リスクが高い基礎疾患を有するコロナウイルス感染で重篤となるリスク 2 80歳以上基礎疾患あり 3 コロナウイルスPCR検査陽性者、体温の高い人は、感染とみなす。



- 13, 8日9日 宅急便が届いた。10日 妻が父の薬と差し入れを持って横浜大黒ふ頭に来た。新たなる希望情報が入った。日本環境感染学会の専門家医師たちが乗船してきた。船内では熱烈歓迎。ところが、14日には下船。
- 14, 10日 乗船客からPCR検査をして欲しいと要望があったが、日本国政府と対応 全員は出来ない。Dマット神戸大学医教授岩田がYouTubeにアップ。ダイヤモンドプリンセス号船内をSNSにアップ。すぐ削除。船からすぐに下船された。ワイドショーに出演しまくっていたので非難、TVに抗議。
- 15, 11日 厚労省副大臣の橋本岳、厚労省大臣政務官の自見英子氏が乗船してきた。船内放送で「厚労省副大臣の橋本岳です」と話し始めたが、何を伝えたいのかさっぱり理解できなかった。その後船内を見て回り、写真撮影をしてSNSで投稿していたが、乗船客から非難され、投稿を削除した。
- 16, 12日 船内放送で、リスクが高い基礎疾患を有するコロナウイルス感染で重篤となるリスク80歳以

上基礎疾患を有する人から PCR 検査をする。

- 17, 14 日 PCR 検査を受ける。突然、船内がざわつき始めた。上からの指示で、日本環境感染学会の専門医師が今日、下船すると伝えられ、国から見捨てられた!!と感じた。船内は、専門家医師たちがいられない場所と認定された。
- 18, 15 日・16 日 埼玉県和光税務大学での隔離書類にサインを求められるが、父は介護状態なので拒否。17 日・18 日 陰性証明書（横浜検疫所長 北澤潤氏）。19 日 上陸許可。
- 19, 19 日午前 11 時 30 分 パスポート、検疫質問票、上陸許可書。下船の横浜大黒ふ頭でプリンセス社のジャン社長が見送りしていた。ハイヤーで羽田空港 スターフライヤーのカウンターでダイヤモンドプリンセス号に乗船していたことを伝える。14 時 15 分羽田発、15 時 45 分北九州空港着で帰って来ることができ、14 日間の経過観察があった。その後、日本中がダイヤモンドプリンセス号の船内のような状態になるとは驚いた。

秋の日帰り旅行 平尾台トレッキング 報告

日 時：11 月 14 日(日) 8 時 50 分～

場 所：平尾台

参加者：鈴木、柚、佐竹、荒木、上野、合馬、甲木、加藤、田中(幸)、豊川、松永、宮島、棟安、安田、八尋、柚須、渡辺、畠中、坂本様(平和電業)

【行程】

- 8:50 平尾台自然観察センター 見学
10:00 トレッキング(吹上峠～大平山～茶ヶ床)
12:30 昼食(レストランムートン)
14:00 解散

待ちに待った「小倉 RC 秋の日帰り旅行」が 2 年ぶりに実施されました。コロナ禍に配慮した平尾台トレッキングで、会員 19 人が薄たなびく秋の平尾台を満喫しました。

「2 週間前から神仏に好天を祈った」という加藤親睦活動委員長の願いが通じたのか、当日は朝から快晴。平尾台自然観察センターで平尾台についてのビデオを鑑賞した後、吹上峠からトレッキング開始です。山岳部で鳴らした上野会員を先導役に標高 586.5 メートルの大



平山頂上を目指しました。「大変な山じゃありません」という上野会員の言葉とは裏腹に、結構な急こう配が続き、途中で汗をぬぐったり水分補給をしたりする会員たち。何度か「ここが頂上？」と思わせる場所が現れ、そのたびに「まだ上がある。だまされた～」と言いながら 30 分かけて登頂した時の嬉しかったこと！ 山頂では棟安会員が広島出張土産の美味しいお菓子を配ってくださり、一息入れることができました。

下山途中、上野会員が突然「貝を探しましょう」と提案。え？山で貝？ それは約 3 億 5 千万年前、赤道近くのサンゴやフズリナの死骸が石灰岩になりプレートの移動によって今の位置まで動いてきたため、石灰岩がぼろぼろと崩れると中から貝殻が出てくるのだそうです。5 分も経たないうちに「見つけた！」「こっちにもある」と声上がり、全員宝探し状態で貝殻を拾い太古のロマンに浸りました。

茶ヶ床まで戻る途中、リンドウやシマカンギクなど秋の野草を愛で、映えスポットの「キス岩」も鑑賞しトレッキングは無事終了。

平尾台自然の郷内のレストランで美味しいランチを堪能し、秋の遠足を終えました。企画してくださった親睦活動委員会、道案内してくださった上野会員と平和電業の坂本様、高級バスを手配してくださった安田会員、ありがとうございました。【報告者：甲木】



米山記念奨学会「特別寄付金」

例会当日寄付者

・八尋 重治

合計	2021～22 年度累計金額
10,000 円	527,000 円

次回例会予告

11 月 26 日(金) 普通例会

・ロータリーソング “四つのテスト”

・卓話

小説家

町田 そのこ 氏

『地元で執筆すること』

※今川名誉会員との対談形式